

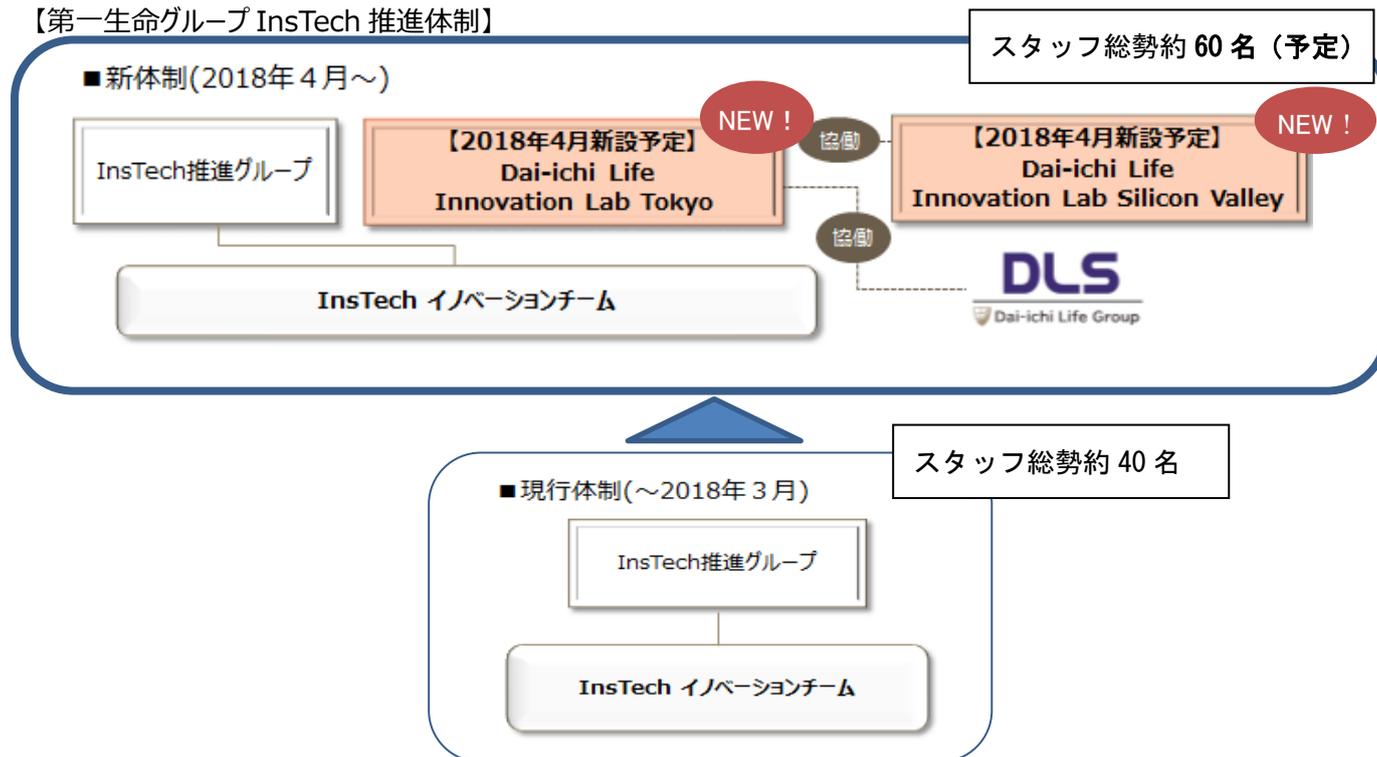
## 新たなビジネスモデル創出を目指した 新組織「Dai-ichi Life Innovation Lab」を新設

第一生命ホールディングス株式会社（社長：稲垣 精二、以下「当社」）は、InsTech(※1)の取り組みをさらに加速させ、イノベーションの具体化による新たなビジネスモデル創出を目指した新組織「Dai-ichi Life Innovation Lab」(以下「Lab」)を2018年4月に新設する予定です。

当社は、今後の生命保険事業を取り巻く外部環境の変化やテクノロジーの急速な進展を踏まえ、新たな価値創造・顧客体験による市場創造・需要開拓や生産性向上等に向けた体制を強化します。Labは東京とシリコンバレーに設置し、グローバルでの連携を強化することで、海外先端技術を積極的に取り入れていきます。

また、第一生命保険(株)・第一生命ホールディングス(株)の人財に加え、グループ会社の第一生命情報システム(株)のシステム開発人財、外部専門人財(中途採用)、コンサルティング会社への外部委託等の多様な人財を融合することで、これまでの固定観念にとらわれない新しいアイデアの実現を目指します。また、オフィスは複数の会社と一緒に業務に携われるコワーキングスペースを設けるなど、新しいワークスタイルを模索した先進的なファシリティを準備し、ベンチャー企業等とのオープンイノベーションを推進させます。

### 【第一生命グループ InsTech 推進体制】



## 【Lab の取組領域】

新組織では、機動的に小規模な概念実証(= Proof of Concept)等を繰り返すことで、健康寿命の延伸・Q O L (※2)の向上等を目指した新たな価値創造・顧客体験の可能性を追求します。ヘルスケア領域やシニア層を対象とした新しい付加価値の提供による市場創造・需要開拓、I o T 技術を活用したビッグデータ解析による新たな価値提供の研究・開発、A I (人工知能)やV R・A R (仮想現実・拡張現実)等を活用した顧客とのインターフェース改革および抜本的な生産性向上等を目指します。

今後も、当社グループは、テクノロジーを積極的に活用した新たなビジネスモデルの創出により、社会保障制度の補完としての役割をさらに強化していきます。

(※1) InsTechとは、保険ビジネス (Insurance) とテクノロジー (Technology) の両面から生命保険事業独自のイノベーションを創出する活動であり、最優先の戦略課題として、第一生命グループ全体で推進しています。外部の開発力・アイデアを積極的に取り入れ、他業態との連携 (エコシステム) を実現しながら、生命保険業界全体のイノベーションをリードしていくことを目指します。

(※2) Q O L (Quality of Life)とは、物理的な豊かさや個々の身辺自立のみではなく、精神面を含めた生活全体の豊かさや自己実現を含めた概念のことです。